

積小為大



令和5年4月7日

No.01

3学年進路係

進路とは、自分が将来どんな仕事について、どんな生き方をするのかを決めることです。今までにみなさんが経験してきた進路は、自動的に自分の住んでいる地域の決められた学校へ、共に過ごしてきた友だちと一緒に進むものでした。

しかし、中学校3年生での進路は今までものとは大きく違い、ひとりひとりが自分で考えて別々の進路先を決めるという人生で初めての大きな節目に直面することになります。

その節目を越えるため、今年一年間は、希望する高校に合格することが具体的な目標となります。もちろん進路の最終目標が高校への進学ではありませんが、その先の進路につながる大切な第一歩だということを考え、慎重に進学先などを決めていく必要があります。必要なことをこの一年間、進路だよりで提供していきますので、必ず目を通すようにしてください。

= 進路だよりの取り扱い方について =

この進路だよりは次の3つのことがらが主な目的になります。

- ① 進路への考え方を提供する
- ② 各種情報をお知らせする
- ③ 体験入学、学校公開などの日程を伝える

この便りは、進路に対してとても大切なことを載せていきます。朝や帰りの会で配布されたら、紛失しないよう『進路用ファイル』に保管しておきましょう。週末には家に持ち帰り、保護者の方にも見てもらってください。

= 保護者の皆様へ =

- 「進路だより」は、週に1回程度発行を予定しています。1人ひとり進路用ファイルを配布しています。発行された進路だよりはファイルに保管して家庭へ持ち帰りますので、ぜひご覧になってください。

「積小為大」とは、江戸時代の農政家・思想家「二宮尊徳」の言葉です。「小さな事が積み重なって大きな事になる。だから、大きな事を成し遂げようと思うなら、日々の小さな事をおろそかにしてはいけない」という意味です。

受験は、直前に徹夜して取り組んでも大きな成果は出せません。毎日の授業や家庭学習の取り組みを大切に、3月に大きな成果につなげて欲しいという思いから、このタイトルにしました。